

Cisco Wireless リリース 8.10.196.0 向け Cisco Wireless Controller および Lightweight アクセスポイント リリースノート

最終更新：2024年9月12日

リリースノートについて

このリリースノートでは、このリリースの新機能と変更点、このリリースへのアップグレード手順、およびこのリリースの未解決の不具合と解決済みの不具合について説明します。このマニュアル内では、特に記載されていない限り、Cisco Wireless Controller をコントローラと呼び、Cisco Lightweight アクセスポイント をアクセスポイントまたは AP と呼びます。

サポート対象の Cisco Wireless Controller プラットフォーム

このリリースでは、次のコントローラプラットフォームがサポートされます。

- Cisco 3504 ワイヤレス コントローラ
- Cisco 5520 ワイヤレス コントローラ
- Cisco 8540 ワイヤレス コントローラ
- 次のプラットフォームの Cisco Virtual Wireless Controller (vWLC) :
 - VMware vSphere Hypervisor (ESXi) バージョン 5.x および 6.x
 - Microsoft Server 2012 以降のバージョンの Hyper-V (リリース 8.4 で導入されたサポート)
 - カーネルベース仮想マシン (KVM) (リリース 8.1 で導入されたサポート)。KVM を導入した後、リリース 8.1 より前のシスコワイヤレスリリースにダウングレードしないことをお勧めします)。
- Cisco 3504 ワイヤレスコントローラ、Cisco 5520 ワイヤレスコントローラ、および Cisco 8540 ワイヤレスコントローラのハイアベイラビリティを実現するシスコ ワイヤレス コントローラ
- Cisco Mobility Express



- (注) Cisco Catalyst Center (旧 Cisco DNA Center) と Cisco AireOS コントローラを含むネットワークで、コントローラが **Error NA serv CA certificate file transfer failed** エラーでプロビジョニングに失敗する場合、回避策として、影響を受けた AireOS コントローラを再起動することを推奨します。

サポート対象のシスコ アクセス ポイント プラットフォーム

このリリースでは、次のシスコ AP プラットフォームがサポートされます。

- Cisco Catalyst 9105 アクセスポイント
- Cisco Catalyst 9130 アクセスポイント
- Cisco Catalyst 9120 アクセスポイント
- Cisco Catalyst 9117 アクセスポイント
- Cisco Catalyst 9115 アクセスポイント
- Cisco Aironet 700 シリーズ アクセスポイント
- Cisco Aironet 700W シリーズ アクセスポイント
- Cisco AP803 統合アクセスポイント
- Cisco 1100、1101、および 1109 サービス統合型ルータでの統合アクセスポイント
- Cisco Aironet 1700 シリーズ アクセスポイント
- Cisco Aironet 1800 シリーズ アクセスポイント
- Cisco Aironet 1810 シリーズ OfficeExtend アクセスポイント
- Cisco Aironet 1810W シリーズ アクセスポイント
- Cisco Aironet 1815 シリーズ アクセスポイント
- Cisco Aironet 1830 シリーズ アクセスポイント
- Cisco Aironet 1840 シリーズ アクセスポイント
- Cisco Aironet 1850 シリーズ アクセスポイント
- Cisco Aironet 2700 シリーズ アクセスポイント
- Cisco Aironet 2800 シリーズ アクセスポイント
- Cisco Aironet 3700 シリーズ アクセスポイント
- Cisco Aironet 3800 シリーズ アクセスポイント
- Cisco Aironet 4800 シリーズ アクセスポイント

- Cisco ASA 5506W-AP702
- Cisco Aironet 1530 シリーズ アクセス ポイント
- Cisco Aironet 1540 シリーズ アクセス ポイント
- Cisco Aironet 1560 シリーズ アクセス ポイント
- Cisco Aironet 1570 シリーズ アクセス ポイント
- Cisco Industrial Wireless 3700 シリーズ アクセス ポイント
- Cisco Catalyst IW6300 Heavy Duty シリーズ アクセス ポイント
- Cisco 6300 シリーズ エンベデッド サービス アクセス ポイント

Cisco AP803 は、Cisco 800 シリーズ サービス統合型ルータ (ISR) 上の統合アクセス ポイント モジュールです。AP803 Cisco ISR の最小在庫管理単位 (Sku) の詳細については、次を参照してください。

<http://www.cisco.com/c/en/us/products/routers/800-series-routers/brochure-listing.html>。

Cisco 1100 ISR の統合アクセスポイントの詳細については、製品データシートを参照してください。

<https://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/routers/1000-series-integrated-services-routers-istr/datasheet-c78-739512.html>。

特定のシスコアクセス ポイント モジュールをサポートしているシスコワイヤレスソフトウェア リリースの詳細については、『Cisco Wireless Solutions Software Compatibility Matrix』ドキュメントの「[Software Release Support for Specific Access Point Modules](#)」セクションを参照してください。

リリースの新機能 8.10.196.0

今回のリリースでは、新機能は導入されていません。このリリースにおけるアップデートの詳細については、本ドキュメントの「[リリース 8.10.190.0 の未修正および修正済みの問題](#)」のセクションを参照してください。



- (注) シスコ ワイヤレス リリース 8.10 の公開ドキュメントの全リストについては、以下のサイトでドキュメントロードマップを参照してください。 <https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/wireless/doc-roadmap/doc-roadmap-release-810.html>

ソフトウェアリリースのタイプと推奨事項

表 1: リリースタイプ

リリースタイプ	説明	利点
メンテナンス展開 (MD)	バグ修正のサポートと継続的なソフトウェアメンテナンスを提供するソフトウェアリリース。これらのリリースは、メンテナンス展開 (MD) として分類されます。 これらのリリースは、継続的なソフトウェアメンテナンスを含む長寿命リリースです。	定期的なメンテナンスリリース (MR) による安定性と長期のサポート期間を提供するソフトウェアリリースを提供します。
早期展開 (ED)	バグ修正に加えて、新機能と新しいハードウェアプラットフォームのサポートを提供するソフトウェアリリース。これらのリリースは、早期導入 (ED) として分類されます。 これらのリリースは短寿命リリースです。	最新の機能と新しいハードウェアプラットフォームまたはモジュールを導入することができます。

リリースの詳細な推奨事項については、次の場所にある『Guidelines for Cisco Wireless Software Release Migration Bulletin』を参照してください。

<http://www.cisco.com/c/en/us/products/collateral/wireless/8500-series-wireless-controllers/bulletin-c25-730741.html>。

表 2: シスコワイヤレスリリースのアップグレードパス 8.10.196.0

現在のソフトウェアリリース	リリースへのアップグレードパス 8.10.196.0
8.5.x	リリース 8.10.196.0 に直接アップグレードできます。
8.6.x	リリース 8.10.196.0 に直接アップグレードできます。
8.7.x	リリース 8.10.196.0 に直接アップグレードできます。
8.8.x	リリース 8.10.196.0 に直接アップグレードできます。
8.9.x	リリース 8.10.196.0 に直接アップグレードできます。
8.10.x	リリース 8.10.196.0 に直接アップグレードできます。

シスコ ワイヤレス リリースのアップグレード

ここでは、シスコ ワイヤレス リリースをアップグレードする際の注意事項と制限事項およびアップグレード手順について説明します。

注意事項と制約事項

- 名前に「?」が付いた既存の WLAN は、このアップグレードでも引き続きサポートされません。ただし、新しい WLAN を作成するときに名前に「?」を含めることはできません。
- デフォルトの管理ユーザーログイン情報が原因で AP がコンソールをロックアウトした場合、AP コンソールにアクセスするには、コントローラ AP グローバルログイン情報をデフォルト以外のユーザー名とパスワードで設定する必要があります。
- WPA3 アップグレードとダウングレードのガイドライン：
 - リリース 8.5 から 8.10 にアップグレードする場合、リリース 8.10 で有効な WPA1 AKM を使用せずに WPA1 を設定すると、アップグレード後に WPA1 設定が無効になります。
 - リリース 8.10 からリリース 8.5 にダウングレードする場合、SAE 用の AKM が構成されていると、ダウングレード後に AKM 検証が失敗します。セキュリティは WPA2、AKM は 802.1X に設定されています。ただし、PMF 構成は保持されるため、エラーが発生します。
 - PMF 構成と FT 構成が分離されているため、リリース 8.10 では、FT を有効状態に設定し、PMF を必須状態に設定することができます。ただし、リリース 8.5 では、この構成は無効です。したがって、リリース 8.5 にダウングレードすると、WLAN が無効になる場合があります。
- リリース 8.10 のソフトウェア ダウングレード ガイドライン：
 - リリース 8.10 ソフトウェアから Cisco コントローラをダウングレードする場合は、コントローラ構成ファイルの破損を防ぐために、リリース 8.5.151.0 以降のリリースにダウングレードすることをお勧めします。
 - リリース 8.10 で新しい国コードを設定していて、以前のリリースにダウングレードする予定の場合は、ダウングレードする前に新しい国コードの設定を削除することをお勧めします。詳細については、[CSCvq91895](#) を参照してください。
- Cisco コントローラを別のリリースにダウングレードまたはアップグレードする前に、AP または AP モードがサポートされているか確認してください。サポートされている AP のみが接続され、AP はコントローラがアップグレードまたはダウングレードされるリリースでサポートされているモードに移行されることを確認します。
- RC4 または 3DES 暗号化タイプを必要とするレガシー クライアントは、ローカル EAP 認証ではサポートされません。

- リリース 8.0.140.0 または 8.0.15x.0 にダウングレードした後で以降のリリースにアップグレードするときに、複数国番号機能も設定している場合、構成ファイルが破損することがあります。以降のリリースにアップグレードしようとする、特殊文字が国のリストに追加され、構成のロード時に問題が発生します。詳細については、[CSCve41740](#) を参照してください。



(注) 他のリリース間のアップグレードおよびダウングレードでは、この問題は発生しません。

- Cisco AP に新しいソフトウェアをダウンロードした後、Cisco AP がアップグレードイメージの状態では停止する場合があります。このようなシナリオでは、コントローラを強制的に再起動して新しいコントローラソフトウェアイメージをダウンロードするか、新しいコントローラソフトウェアイメージのダウンロード後にコントローラを再起動する必要がある場合があります。**reset system forced** コマンドを入力して、コントローラを強制的にリブートします。
- マルチキャストおよび IP アドレスの検証により、コントローラから一部の古い設定をダウンロードすることはできません。グローバルマルチキャストおよびマルチキャストモードのプラットフォームサポートの詳細については、『Cisco Wireless Controller Configuration Guide』の「Restrictions on Configuring Multicast Mode」の項を参照してください。
- クライアントが HTTP 要求を送信すると、コントローラはその要求を代行受信してログインページにリダイレクトします。コントローラによって代行受信された HTTP GET 要求が 2000 バイトを超えている場合、コントローラはそのパケットをドロップします。この制限に対処するために使用できる機能拡張については、不具合 [ID CSCuy81133](#) を参照してください。
- あるリリースから以前のリリースにダウングレードするときには、現在のリリースの設定が失われるおそれがあります。回避策として、バックアップサーバーに保存されている以前のコントローラ設定ファイルをリロードするか、コントローラを再設定する方法があります。
- 中間のリリースにコントローラをアップグレードする場合は、コントローラにアソシエートされているすべての AP を中間リリースにアップグレードしてから最新のコントローラソフトウェアをインストールしてください。大規模なネットワークでは、各 AP でソフトウェアをダウンロードするのに多少時間がかかる場合があります。
- FIPS が有効な場合でも、コントローラソフトウェアの新しいリリースへのアップグレードや、旧リリースへのダウングレードは実行できます。
- 最新のソフトウェアリリースにアップグレードすると、コントローラにアソシエートされている AP のソフトウェアも自動的にアップグレードされます。AP がソフトウェアをロードしている場合、アクセスポイントの各 LED は連続して点滅します。
- コントローラでは、標準の SNMP MIB ファイルがサポートされています。MIB は Cisco.com のソフトウェアのダウンロードページからダウンロードできます。

- コントローラソフトウェアは、工場でコントローラにインストールされており、リリースのアップグレード後や、AP がコントローラに参加したときには、AP に自動的にダウンロードされます。運用上の利点を最大限活用するために、利用可能な最新のソフトウェアバージョンをインストールすることを推奨します。
- ソフトウェアのアップグレードに TFTP、HTTP、FTP、または SFTP サーバーが使用できることを確認します。サーバーをセットアップするときには、次のガイドラインに従ってください。

- TFTP サーバーで、コントローラソフトウェアリリースよりも大きなサイズのファイルがサポートされていることを確認します。このサイズのファイルをサポートする TFTP サーバーには、`tftpd32` や Cisco Prime Infrastructure 内の TFTP サーバーがあります。コントローラソフトウェアイメージをダウンロードするときに TFTP サーバーでこのサイズのファイルがサポートされていないと、次のエラーメッセージが表示されます。

「TFTP failure while storing in flash」

- ディストリビューションシステム ネットワーク ポートを経由してアップグレードする場合、ディストリビューションシステムポートはルーティング可能であるため、TFTP サーバーまたは FTP サーバーは、同じサブネット上にあっても別のサブネット上にあってもかまいません。
- コントローラのブートローダには、アクティブなプライマリ イメージとバックアップ イメージのコピーが保存されています。プライマリ イメージが破損した場合は、バックアップ イメージを使用してブートローダを起動させることができます。

バックアップ イメージが保存されている状態で、リブートの前に [Boot Options] メニューで [Option 2: Run Backup Image] を選択し、バックアップ イメージから起動されるようにします。次に、動作することが判明しているイメージでアップグレードを行い、コントローラをリブートします。

- 管理インターフェイスで NAT が有効になっている場合に、Control and Provisioning of Wireless Access Points (CAPWAP) ディスカバリ応答で送信されるアドレスを制御するには、次のコマンドを使用します。

```
config network ap-discovery nat-ip-only {enable | disable}
```

コマンドの詳細は次のとおりです。

enable : NAT IP の使用をディスカバリ応答でのみ有効にします。これはデフォルトです。このコマンドは、すべての AP が NAT ゲートウェイの外にある場合に使用します。

disable : ディスカバリ応答での NAT IP および非 NAT IP の両方の使用を有効にします。このコマンドは、AP が NAT ゲートウェイの内部および外部にある場合に使用します。たとえば、ローカルモードの AP と OfficeExtend AP が同じコントローラにある場合です。



(注) AP が孤立するのを防ぐには、**config network ap-discovery nat-ip-only** コマンドに **disable** オプションを使用する前に、AP のリンク遅延を無効にする必要があります（有効にされている場合）。AP のリンク遅延を無効にするには、**config ap link-latency disable all** コマンドを使用します。

- アップグレードプロセス中にコントローラまたはいずれかの AP の電源をオフにしないでください。電源をオフにすると、ソフトウェアイメージが破損する可能性があります。多数の AP を含むコントローラをアップグレードするには、ネットワークのサイズにもよりますが、最大で 30 分かかる場合があります。ただし、同時にアップグレードされる AP 数が増加したため、アップグレードの時間が大幅に短縮されました。AP の電源は入れたままにしておく必要があります。また、アップグレード時にコントローラをリセットしてはなりません。
- 次の操作をコントローラで実行した後は、変更を有効にするためにコントローラをリブートする必要があります。
 - LAG の有効化または無効化
 - 証明書に関する機能の有効化（HTTPS や Web 認証など）
 - 新しいライセンスの追加、または既存のライセンスの変更



(注) 使用権ライセンスを使用している場合、再起動は必要ありません。

- ライセンスの優先度を上げます。
 - HA を有効にします。
 - SSL 証明書をインストールします。
 - データベース サイズを設定します。
 - ベンダーデバイス証明書をインストールします。
 - CA 証明書をダウンロードします。
 - 設定ファイルをアップロードします。
 - Web 認証証明書をインストールします。
 - 管理インターフェイスまたは仮想インターフェイスに変更を加えます。
- Cisco AireOS 3504 コントローラ：コントローラが 450 日以上稼働している場合は、ソフトウェアイメージをコントローラにダウンロードする前に、フラッシュメモリを解放してください。詳細については、[CSCwh98302](#)を参照してください。

シスコ ワイヤレス ソフトウェアのアップグレード (GUI)

手順

- ステップ 1** コントローラの設定ファイルをサーバーにアップロードして設定ファイルをバックアップします。
- (注) コントローラソフトウェアをアップグレードする前に、コントローラの設定ファイルをバックアップしておくことを強く推奨します。
- ステップ 2** 次の手順に従って、コントローラ ソフトウェアを入手します。
- ソフトウェア ダウンロード ポータル (<https://software.cisco.com/download/home>) を参照します。
 - コントローラ モデルを検索します。
 - [Wireless LAN Controller Software] をクリックします。
 - ソフトウェアリリースには、ダウンロードするリリースを判断する際に役立つように、次のようなラベルが付いています。コントローラ ソフトウェア リリース番号をクリックします。
 - [Early Deployment (ED)] : これらのソフトウェア リリースには、バグ修正ファイルだけでなく、新機能および新しいハードウェア プラットフォーム サポートが付属しています。
 - [Maintenance Deployment (MD)] : これらのソフトウェア リリースには、バグ修正ファイルおよび現時点のソフトウェア メンテナンスが付属しています。
 - [Deferred (DF)] : これらは延期されたソフトウェア リリースです。アップグレードしたリリースに移行することを推奨します。
 - ファイル名 `<filename.aes>` をクリックします。
 - [Download] をクリックします。
 - シスコのエンドユーザー ソフトウェアのライセンス契約を読み、[Agree] をクリックします。
 - お使いのハード ドライブにファイルを保存します。
 - ステップ *a* から *h* を繰り返して、他のファイルをダウンロードします。
- ステップ 3** コントローラソフトウェアのファイル `<filename.aes>` を TFTP、FTP、SFTP、または USB サーバーのデフォルトディレクトリにコピーします。
- ステップ 4** (任意) コントローラ 802.11 ネットワークを無効にします。
- (注) 使用率の高いネットワークやコントローラ、または小規模なコントローラプラットフォームでは、予防措置として 802.11 ネットワークを無効にすることをお勧めします。
- ステップ 5** [Commands] > [Download File] の順に選択して [Download File to Controller] ページを開きます。
- ステップ 6** [File Type] ドロップダウン リストから、[Code] を選択します。

- ステップ 7** [Transfer Mode] ドロップダウンリストから、[TFTP]、[FTP]、[SFTP]、[HTTP]、または [USB] を選択します。
- ステップ 8** プロンプトに従って、対応するサーバーの詳細を入力します。
(注) 転送モードとして HTTP を選択した場合、サーバーの詳細は必要ありません。
- ステップ 9** [Download] をクリックして、ソフトウェアをコントローラにダウンロードします。
ダウンロードのステータスを示すメッセージが表示されます。
(注) 両方のイメージで [File Type] に [Code] を選択していることを確認します。
- ステップ 10** ダウンロードの完了後、[Reboot] をクリックします。
- ステップ 11** 変更を保存するように求めるプロンプトが表示されたら、[Save and Reboot] をクリックします。
- ステップ 12** [OK] をクリックし、変更内容を確定してコントローラをリブートします。
- ステップ 13** 802.11 ネットワークを無効にした場合は、再度有効にします。
- ステップ 14** (任意) コントローラにコントローラ ソフトウェアがインストールされたことを確認するには、コントローラ GUI の [Monitor] をクリックして、[Controller Summary] の下の [Software Version] フィールドを確認します。

5520 および 8540 コントローラの CIMC ユーティリティのアップグレード

AIR-CT5520-K9 および AIR-CT8540-K9 コントローラ モデルは、それぞれ Cisco UCS サーバー C シリーズの C220 および C240 M4 に基づいています。これらのコントローラ モデルには、電源、メモリ、ディスク、ファン、温度などの低レベルの物理パーツを編集またはモニターしたり、コントローラへのリモート コンソール アクセスを提供できる CIMC ユーティリティがあります。

CIMC ユーティリティを、これらのコントローラで使用することが認定されているバージョンにアップグレードすることをお勧めします。古いバージョンの CIMC がインストールされているコントローラは、FlexFlash にアクセスできずに再起動する可能性があります。その結果、製造元の証明書が使用できなくなり、SSH および HTTPS 接続に失敗し、アクセスポイントが参加できなくなります。CSCvo33873 を参照してください。推奨バージョンでは、この FlexFlash の問題に対処しています。

認定済み CIMC イメージは、次の場所で入手できます。

表 3: CIMC ユーティリティのソフトウェア イメージ情報

コントローラ	現在の CIMC バージョン	推奨される CIMC バージョン	CIMC ユーティリティのソフトウェアイメージをダウンロードするためのリンク
Cisco 5520 ワイヤレスコントローラ Cisco 8540 ワイヤレスコントローラ	2.x	2023 年 11 月以降の 4.1(2m)。	<p>1. 3.0(4r) へのアップグレード</p> <ul style="list-style-type: none"> 5520—https://software.cisco.com/download/home/28628134/283850974/release/3.0(4r) 8540—https://software.cisco.com/download/home/28628135/283850974/release/3.0(4r) <p>(注) TFTP、SCP コールの使用、ファームウェアを 2.0(13i) から 3.0(4r) レードアップグレードをお勧めします。</p> <p>2. 3.0(4r) から 4.1(2m) へのアップグレード</p> <p>https://software.cisco.com/download/home/28628134/283850974/release/4.1(2m)</p> <p>(注) TFTP、SCP コールのみを使用するファームウェアを 2.0(13i) から 4.1(2m) レードアップグレードをお勧めします。</p>
Cisco 5520 ワイヤレスコントローラ (C220 M4) Cisco 8540 ワイヤレスコントローラ (C240 M4)	3.x または 4.x	2023 年 11 月以降の 4.1(2m)。	<p>https://software.cisco.com/download/home/28628134/283850974/release/4.1(2m)</p>

- CIMC のアップグレードパスの詳細については、『[Cisco UCS Rack Server Upgrade Matrix](#)』を参照してください。

- CIMC リリースノート
 - **3.0(4)**— https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/unified_computing/ucs/release/notes/b_UCS_C-Series_Release_Notes_3_0_4.html
 - **4.1(2)**— https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/unified_computing/ucs/release/notes/b_release-notes-for-cisco-ucs-rack-server-software-release-4_1_2.html

表 4: リリース 4.1(2k) の主な修正

CSCvv60351	FlexFlash ドライバコードのミュートックスの問題 (4.1(2f) で修正済み)
CSCvv71216	FlexFlash SD カードの消失と再表示が頻繁に繰り返される (4.1(2f) で修正済み)

他のクライアントとの相互運用性

このセクションでは、コントローラ ソフトウェアと他のクライアント デバイスとの相互運用性について説明します。

次の表では、クライアント デバイスのテストに使用される設定について説明します。

表 5: 相互運用性のテストベッド設定

ハードウェアまたはソフトウェアパラメータ	ハードウェアまたはソフトウェア設定タイプ
リリース	8.10.x
シスコワイヤレスコントローラ	Cisco 3504 ワイヤレスコントローラ
アクセスポイント	Cisco 9130、9120、および 3800 AP
無線機	802.11ax (2.4 GHz または 5 GHz)、802.11ac、802.11a、802.11g、802.11n (2.4 GHz または 5 GHz)
セキュリティ	オープン、WPA3-SAE/OWE (WPA3 対応クライアント)、WPA2+WPA3 (混合モード) PSK (WPA2-AES)、802.1X (WPA2-AES) (EAP-PEAP)
RADIUS	Cisco ISE 2.6 Cisco ISE 2.7
テストのタイプ	AP 間のアソシエーション、トラフィック (TCP/UDP/ICMP)、ローミング

次の表に、テストが実施されたクライアントタイプを示します。クライアントタイプには、ラップトップ、ハンドヘルドデバイス、電話機、プリンタなどが含まれます。

表 6: クライアントタイプ

クライアントのタイプおよび名前	ドライバ/ソフトウェアバージョン
Wi-Fi 6 デバイス（携帯電話およびラップトップ）	
Apple iPhone 11	iOS 14.1
Apple iPhone SE 2020	iOS 14.1
Dell Intel AX1650w	Windows 10 (21.90.2.1)
DELL LATITUDE 5491 (Intel AX200)	Windows 10 Pro (21.40.2)
Samsung S20	Android 10
Samsung S10 (SM-G973U1)	Android 9.0 (One UI 1.1)
Samsung S10e (SM-G970U1)	Android 9.0 (One UI 1.1)
Samsung Galaxy S10+	Android 9.0
Samsung Galaxy Fold 2	Android 10
Samsung Galaxy Flip Z	Android 10
Samsung Note 20	Android 10
ラップトップ	
Acer Aspire E 15 E5-573-3870 (Qualcomm Atheros QCA9377)	Windows 10 Pro (12.0.0.832)
Apple Macbook Air 11 inch	OS Sierra 10.12.6
Apple Macbook Air 13 inch	OS Catalina 10.15.4
Apple Macbook Air 13 inch	OS High Sierra 10.13.4
Macbook Pro Retina	OS Mojave 10.14.3
Macbook Pro Retina 13 inch early 2015	OS Mojave 10.14.3
Dell Inspiron 2020 Chromebook	Chrome OS 75.0.3770.129
Google Pixelbook Go	Chrome OS 84.0.4147.136
HP chromebook 11a	Chrome OS 76.0.3809.136
Samsung Chromebook 4+	Chrome OS 77.0.3865.105
DELL Latitude 3480 (Qualcomm DELL wireless 1820)	Win 10 Pro (12.0.0.242)

クライアントのタイプおよび名前	ドライバ/ソフトウェアバージョン
DELL Inspiron 15-7569 (Intel Dual Band Wireless-AC 3165)	Windows 10 Home (18.32.0.5)
DELL Latitude E5540 (Intel Dual Band Wireless AC7260)	Windows 7 Professional (21.10.1)
DELL XPS 12 v9250 (Intel Dual Band Wireless AC 8260)	Windows 10 (19.50.1.6)
DELL Latitude 5491 (Intel AX200)	Windows 10 Pro (21.40.2)
DELL XPS Latitude12 9250 (Intel Dual Band Wireless AC 8260)	Windows 10 Home (21.40.0)
Lenovo Yoga C630 Snapdragon 850 (Qualcomm AC 2x2 Svc)	Windows 10 (1.0.10440.0)
Lenovo Thinkpad Yoga 460 (Intel Dual Band Wireless-AC 9260)	Windows 10 Pro (21.40.0)
(注) Intel 無線カードを使用しているクライアントの場合、アドバタイズされた SSID が表示されない場合は、最新の Intel ワイヤレス ドライバに更新することをお勧めします。	
タブレット	
Apple iPad Pro	iOS 13.5
Apple iPad Air 2 MGLW2LL/A	iOS 12.4.1
Apple iPad Mini 4 9.0.1 MK872LL/A	iOS 11.4.1
Apple iPad Mini 2 ME279LL/A	iOS 12.0
Microsoft Surface Pro 3 ~ 11ac	Qualcomm Atheros QCA61x4A
Microsoft Surface Pro 3 ~ 11ax	Intel AX201 チップセット。Driver v21.40.1.3
Microsoft Surface Pro 7 ~ 11ax	Intel Wi-Fi チップ (HarrisonPeak AX201) (11ax、WPA3)
Microsoft Surface Pro X - 11ac および WPA3	WCN3998 Wi-Fi チップ (11ac、WPA3)
携帯電話	
Apple iPhone 5	iOS 12.4.1
Apple iPhone 6s	iOS 13.5
Apple iPhone 8	iOS 13.5
Apple iPhone X MQA52LL/A	iOS 13.5
Apple iPhone 11	iOS 14.1
Apple iPhone SE MLY12LL/A	iOS 11.3

クライアントのタイプおよび名前	ドライバ/ソフトウェアバージョン
ASCOM SH1 Myco2	Build 2.1
ASCOM SH1 Myco2	Build 4.5
ASCOM Myco 3 v1.2.3	Android 8.1
Drager Delta	VG9.0.2
Drager M300.3	VG2.4
Drager M300.4	VG2.4
Drager M540	DG6.0.2 (1.2.6)
Google Pixel 2	Android 10
Google Pixel 3	Android 11
Google Pixel 3a	Android 11
Google Pixel 4	Android 11
Huawei Mate 20 pro	Android 9.0
Huawei P20 Pro	Android 9.0
Huawei P40	Android 10
LG v40 ThinQ	Android 9.0
One Plus 8	Android 10
Oppo Find X2	Android 10
Redmi K20 Pro	Android 10
Samsung Galaxy S7	Android 6.0.1
Samsung Galaxy S7 SM - G930F	Android 8.0
Samsung Galaxy S8	Android 8.0
Samsung Galaxy S9+ - G965U1	Android 9.0
Samsung Galaxy SM - G950U	Android 7.0
Sony Xperia 1 ii	Android 10
Sony Xperia xz3	Android 9.0
Xiaomi Mi10	Android 10
Spectralink 8744	Android 5.1.1
Spectralink Versity Phones 9540	Android 8.1
Vocera Badges B3000n	4.3.2.5
Vocera Smart Badges V5000	5.0.4.30
Zebra MC40	Android 5.0

クライアントのタイプおよび名前	ドライバ/ソフトウェアバージョン
Zebra MC40N0	Android バージョン : 4.1.1
Zebra MC92N0	Android バージョン : 4.4.4
Zebra TC51	Android 7.1.2
Zebra TC52	Android 8.1.0
Zebra TC55	Android 8.1.0
Zebra TC57	Android 8.1.0
Zebra TC70	Android 6.1
Zebra TC75	Android 6.1.1
プリンタ	
Zebra QLn320 プリンタ	LINK OS 6.3
Zebra ZT230 プリンタ	LINK OS 6.3
Zebra ZQ310 プリンタ	LINK OS 6.3
Zebra ZD410 プリンタ	LINK OS 6.3
Zebra ZT410 プリンタ	LINK OS 6.3
Zebra ZQ610 プリンタ	LINK OS 6.3
Zebra ZQ620 プリンタ	LINK OS 6.3
ワイヤレスモジュール	
Intel 11ax 200	ドライバ v21.40.1.3、v21.20.1.1
Intel AC 9260	Driver v21.40.0
Intel Dual Band Wireless AC 8260	Driver v19.50.1.6

コントローラプラットフォームでサポートされていない主要機能

このセクションでは、各種コントローラプラットフォームでサポートされていない機能を示します。



- (注) AireOS コードを実行するコントローラを使用する統合アクセス環境では、ハイアベイラビリティクライアント SSO とネイティブ IPv6 はサポートされません。

Cisco 3504 ワイヤレスコントローラでサポートされていない主要機能

- Cisco WLAN Express セットアップの OTA プロビジョニング

- 統合アクセス モードのモビリティ コントローラ機能
- VPN 終端 (IPSec および L2TP など)

Cisco 5520 WLC および 8540 ワイヤレスコントローラでサポートされていない主要機能

- 内部 DHCP サーバー
- 統合アクセス モードのモビリティ コントローラ機能
- VPN 終端 (IPSec および L2TP など)
- インターフェイス上でのフラグメントされた ping

Cisco Virtual Wireless Controller でサポートされていない主要機能

- Cisco Umbrella
- SD-Access
- ドメインベースの ACL
- 内部 DHCP サーバー
- Cisco TrustSec
- ローカル モードのアクセス ポイント
- モビリティまたはゲスト アンカーのロール
- 有線ゲスト
- マルチキャスト



(注) FlexConnect でローカルにスイッチングされるマルチキャストトラフィックは、同じ VLAN 上の有線およびワイヤレスの両方で透過的にブリッジングされます。FlexConnect AP は、IGMP または MLD スヌーピングに基づいてトラフィックを制限しません。

- 大規模な展開での FlexConnect 中央スイッチング



(注)

- FlexConnect 中央スイッチングは、コントローラ ポートの合計トラフィックが 500 Mbps を超えない小規模な展開でのみサポートされます。
- FlexConnect ローカル スwitching はサポートされます。

- Microsoft Hyper-V 展開での中央スイッチング
- 高可用性の AP とクライアント SSO
- PMIPv6
- Datagram Transport Layer Security (DTLS)
- EoGRE (ローカル スイッチング モードでのみサポート)
- ワークグループブリッジ
- 中央スイッチングに対するクライアント ダウンストリーム レート制限
- SHA2 証明書
- Lync SDN API とのコントローラの統合
- Cisco OfficeExtend アクセス ポイント

アクセスポイントプラットフォームでサポートされていない主要機能

このセクションでは、各種 Cisco Aironet AP プラットフォームでサポートされていない主な機能を示します。Cisco Aironet Wave 2 AP および 802.11ax AP での機能のサポートの詳細については、次を参照してください。

https://www.cisco.com/c/en/us/td/docs/wireless/access_point/feature-matrix/ap-feature-matrix.html

Cisco Aironet 1800i、1810 OEAP、1810W、1815、1830、1850、2800、3800、および 4800 シリーズの AP でサポートされていない主要機能

表 7: Cisco Aironet 1800i、1810 OEAP、1810W、1815、1830、1850、2800、3800、および 4800 シリーズの AP でサポートされていない主要機能

動作モード	<ul style="list-style-type: none"> • 自律ブリッジおよびワークグループブリッジ (WGB) モード (注) WGB は Cisco Aironet 2800、3800 シリーズ AP でサポートされています。 • メッシュモード (注) メッシュモードは、リリース 8.10.x の Cisco Aironet 1815i、1815m、1830、1850、2800、3800、および 4800 シリーズ AP でサポートされています。 • NAT または PAT 環境の背後にある LAG
-------	---

プロトコル	<ul style="list-style-type: none"> • 完全な Cisco Compatible Extensions (CCX) のサポート • Rogue Location Discovery Protocol (RLDP) • Telnet
セキュリティ	<ul style="list-style-type: none"> • ダイナミック WEP を使用した CKIP、CMIC、LEAP • CKIP の静的 WEP • WPA2 + TKIP <p>(注) WPA + TKIP および TKIP + AES プロトコルがサポートされています。</p>
QoS	<p>Cisco Air Time Fairness (ATF)</p> <p>(注) ATF は、リリース 8.10 の Cisco Aironet 2800、3800、および 4800 シリーズ AP でサポートされています。</p>
FlexConnect の機能	<ul style="list-style-type: none"> • PPPoE • マルチキャストからユニキャストへ (MC2UC) <p>(注) VideoStream がサポートされています。</p> <ul style="list-style-type: none"> • Traffic Specification (TSpec) <ul style="list-style-type: none"> • Cisco Compatible Extension (CCX) • コールアドミッション制御 (CAC) • VSA/レルム照合認証 • ローカルスイッチングモードの FlexConnect を使用した SIP スヌーピング



(注) 現在サポートされている機能の詳細を含む Cisco Aironet 1850 シリーズ AP の技術仕様については、『[Cisco Aironet 1850 Series Access Points Data Sheet](#)』を参照してください。

Cisco Aironet 1800i、1810 OEAP、および 1810W シリーズの AP でサポートされていない主要機能

表 8: Cisco Aironet 1800i、1810 OEAP、および 1810W シリーズの AP でサポートされていない主要機能

動作モード	Mobility Express
-------	------------------

FlexConnect の機能	ローカル AP 認証
ロケーション サービス	データ RSSI (高速検索)

Cisco Aironet 1830、1850、および 1815 シリーズの AP でサポートされていない主要機能

表 9: Cisco Aironet 1830、1850、および 1815 シリーズの AP でサポートされていない主要機能

動作モード	Mobility Express は Cisco 1815t AP でサポートされていません。
FlexConnect の機能	ローカル AP 認証
ロケーション サービス	データ RSSI (高速検索)

メッシュ ネットワークでサポートされていない主要機能

- ローカルベースのコール アドミッション制御 (CAC)。メッシュ ネットワークは帯域幅ベース CAC または静的 CAC のみサポートします。
- ハイアベイラビリティ (高速ハートビートおよびプライマリ ディスカバリ join タイマー)
- FASTv1 および 802.1 X 認証でサブリカントとして動作する AP
- AP 参加優先順位 (メッシュ AP には固定の優先順位があります)
- ロケーションベースのサービス

Cisco Aironet 1540 メッシュ AP でサポートされていない主要機能

- ダイナミック メッシュ バックホールデータ レート。



(注) AP のブリッジデータ レートを [auto] のままにしておくことをお勧めします。

- バックグラウンド スキャン
- ノイズ耐性高速コンバージェンス

Cisco Aironet 1560 AP でサポートされていない主要機能

- MAC 認証 FlexConnect ローカル認証
- ノイズ耐性高速コンバージェンス
- 静的 WEP

Cisco Catalyst IW6300 Heavy Duty シリーズ AP および 6300 シリーズ エンベデッド サービス AP でサポートされていない主な機能

- MAC 認証 FlexConnect ローカル認証
- ノイズ耐性高速コンバージェンス
- 静的 WEP

リリース 8.10.190.0 の未修正および修正済みの問題

リリース 8.10.196.0 の未修正の問題

表 10: 未修正の問題

ID	見出し
CSCwe63089	AP の LED がランダムに白色で点灯する
CSCwe67810	COS-AP Flexconnect スタンドアロンで DHCP 更新時にクライアントが応答なしの 18 回の検出要求ごとに切断される
CSCwe76817	Cisco AP : CAPWAP MTU 検出の問題
CSCwe80617	入力または出力エラーメッセージの後、ワイヤレスクライアントが 1830 AP に接続できない
CSCwe82287	クライアント自身が認証解除を送信すると、PMF WPA3 クライアントによる関連付けが AP で許可されません。
CSCwe89429	AP のメモリが不足しているため、2802AP が DHCP オファーをドロップした
CSCwe91394	余分なバイトが原因で、Aeroscout T15e タグが温度データを報告しない
CSCwe92462	動作可能 : [Client Data Rate] チャートが、データレートのみではなく管理レートによって歪められる
CSCwf07384	Cisco Catalyst 9105 RLAN の背後にある有線クライアントがトラフィックを渡すことができない
CSCwf13804	netlink_socket_receive multicast_group 1 が失敗を返し、No buffer space available というエラーが表示される
CSCwf22246	Cisco Catalyst 9130 AP : AP チップセット全体の管理フレーム数の計算が画一化される
CSCwf32342	パッシブクライアントがあるファブリック WLAN の ARP 転送

ID	見出し
CSCwf63818	バージョン 17.9.2 を実行している Cisco 1832 AP : カーネルパニッククラッシュが確認される
CSCwf65794	無線障害（無線の復旧に失敗）が原因で Cisco 1852 AP が予期せずリロードされる
CSCwf83278	Cisco 9800 コントローラ : AP が CLIENT_DEL_STOP_REASSOC を送信すると、クライアントトラフィックが N+1 で失敗する
CSCwf92148	設定済みの WLAN で 11ax が無効になっているスロット 1 で HE が無効になっている場合、9120 デュアル 5 GHz でスロット 0 の HE が無効にならない

リリース 8.10.196.0 で修正された問題

表 11: 修正済みの問題

ID	見出し
CSCwj16668	9800 から 5520 IRCM にローミングすると、WGB の背後にある有線クライアントがネットワーク接続を失う
CSCwh74663	Cisco 2800/3800/4800/1560/6300 AP が QoS データフレームをダウンストリームに送信しない
CSCwh02986	dBm 単位の AP 送信電力が WLC/AP と Ekahau の調査で一致しない
CSCwi06055	ボードの温度が -20 °C 未満になると、IW 3702 AP の無線がリセットされ、ダウンしたままになる
CSCwi67013	Cisco 2800 AP : AP2800-T ドメインでチャンネル（52、120、124、128）を設定できない
CSCwh61011	Cisco 9120、9115 AP がコントローラから予期せず切断され、DTLS を再確立できない
CSCwf53520	バージョン 17.9.2 を実行している Cisco 1815 AP : カーネルパニッククラッシュが確認される

関連資料

ワイヤレス製品の比較

- 次のツールを使用して、シスコワイヤレスアクセスポイントとコントローラの仕様を比較します。

<https://www.cisco.com/c/en/us/products/wireless/wireless-lan-controller/product-comparison.html>

- 製品承認ステータス :

https://prdapp.cloudapps.cisco.com/cse/prdapp/jsp/externalsearch.do?action=externalsearch&page=EXTERNAL_SEARCH

- 無線 LAN コンプライアンス検索 :

<https://www.cisco.com/c/dam/assets/prod/wireless/wireless-compliance-tool/index.html>

Cisco ワイヤレス コントローラ

コントローラ、Lightweight AP、およびメッシュ APの詳細については、次のドキュメントを参照してください。

- 特定のコントローラまたはアクセスポイントのクイックスタートガイドまたはインストールガイド
- [Cisco Wireless Solutions Software Compatibility Matrix](#)
- [Cisco Legacy Wireless Solutions Software Compatibility Matrix](#)
- [Cisco Wireless Controller Configuration Guide](#)
- [Cisco Wireless Controller Command Reference](#)
- [Cisco Wireless Controller System Message Guide](#)

コントローラソフトウェア関連のすべてのドキュメントについては、次を参照してください。

<http://www.cisco.com/c/en/us/support/wireless/wireless-lan-controller-software/tsd-products-support-series-home.html>

Cisco Mobility Express

- [Cisco Mobility Express Release Notes](#)
- [Cisco Mobility Express User Guide](#)
- [Cisco Aironet Universal AP Priming and Cisco AirProvision User Guide](#)

Cisco Aironet Access Points for Cisco IOS Releases

- [Release Notes for Cisco Aironet Access Points for Cisco IOS Releases](#)
- [Cisco IOS Configuration Guides for Autonomous Aironet Access Points](#)
- [Cisco IOS Command References for Autonomous Aironet Access Points](#)

コントローラおよびアクセス ポイント ソフトウェアで使用されるオープン ソース

コントローラおよびアクセス ポイント ソフトウェアで使用されるオープン ソースを説明するドキュメントにアクセスするには、このリンクをクリックします。

<https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/open-source-documentation-responsive.html>

Cisco Prime Infrastructure

[Cisco Prime Infrastructure マニュアル](#)

Cisco Connected Mobile Experiences

[Cisco Connected Mobile Experiences マニュアル](#)

Cisco Digital Network Architecture

<https://www.cisco.com/c/en/us/support/wireless/dna-spaces/series.html>

通信、サービス、およびその他の情報

- シスコからタイムリーな関連情報を受け取るには、[Cisco Profile Manager](#) でサインアップしてください。
- 重要な技術によりビジネスに必要な影響を与えるには、[Cisco Services \[英語\]](#) にアクセスしてください。
- サービス リクエストを送信するには、[Cisco Support \[英語\]](#) にアクセスしてください。
- 安全で検証済みのエンタープライズクラスのアプリケーション、製品、ソリューション、およびサービスを探して参照するには、[Cisco DevNet](#) にアクセスしてください。
- 一般的なネットワーク、トレーニング、認定関連の出版物を入手するには、[Cisco Press](#) にアクセスしてください。
- 特定の製品または製品ファミリの保証情報を探すには、[Cisco Warranty Finder](#) にアクセスしてください。

シスコバグ検索ツール

[シスコバグ検索ツール](#) (BST) は、シスコ製品とソフトウェアの障害と脆弱性の包括的なリストを管理するシスコバグ追跡システムへのゲートウェイです。BSTは、製品とソフトウェアに関する詳細な障害情報を提供します。

マニュアルに関するフィードバック

シスコのテクニカルドキュメントに関するフィードバックを提供するには、それぞれのオンラインドキュメントの右側のペインにあるフィードバックフォームを使用してください。

【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（www.cisco.com/jp/go/safety_warning/）をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <https://www.cisco.com/c/en/us/about/legal/trademarks.html>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1721R)

© 2024 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。